



明日香村公式SNS

防災・コロナ関連

メール



bousai.asuka-vil@raidens2.ktaiwork.jp

LINE

アカウント名 明日香村



観光情報

明日香村【公式】Instagram
(@ asukanavi)



<https://www.instagram.com/asukanavi/>

明日香村【公式】Facebook
(@ asukanavi)



<https://m.facebook.com/asukamuraofficial/>

古墳の一般公開開始！

平成29年度から5カ年にわたって実施してきた牽牛子塚古墳等整備事業が完了しました。牽牛子塚古墳等の整備に至る経緯や整備の概要について紹介します。

【1. 調査前の様子】

牽牛子塚古墳は江戸時代の山陵研究家、北浦定政の『松の落葉』や平塚瓢斎の『陵墓一隅抄』にその存在が記されており、江戸時代からすでに認識されていました。文中では「あさがお塚」と記されており、墳丘がアサガオの花びらのように多角形であったことからそのように呼ばれています。

自然災害等による墳丘の崩落や経年劣化による盛土の流出により、墳丘の弱体化が懸念されていました。このような状況を踏まえて、明日香村ではどのように古墳を保護するかを検討するため、墳丘とその周辺の発掘調査を実施することとなりました。



調査前の牽牛子塚古墳

【2. 発掘調査の成果】

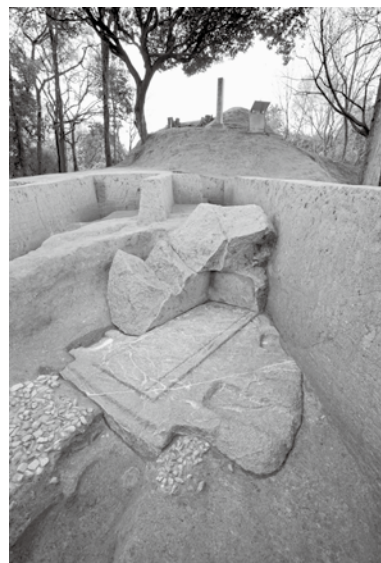
墳丘は版築を用いた対辺約22mの八角墳で、墳丘斜面には二上山産の凝灰岩切石が施されています。埋葬施設は二上山産の凝灰岩の巨石（約80t）を用いた南に開口する割り抜き式横口式石槨で、石室内には二つの墓室が設けられています。石室内等からは当時としては最上級の棺である夾紵棺片をはじめ、七宝製亀甲形飾金具やガラス玉、歯牙などが出土しています。



発掘調査で明らかとなった牽牛子塚古墳の墳丘

さらに牽牛子塚古墳の南東側に接した場所から新たな古墳を検出し、大字と小字名から越塚御門古墳と命名しました。越塚御門古墳は版築を用いた一辺約10m程度の方墳と考えられます。埋葬施設は石英閃緑岩（通称、飛鳥石）の巨石を使用した南に開口する割り抜き式横口式石槨です。石室内からは漆膜や釘などが出土しています。

牽牛子塚古墳は古代の「越智岡」に所在するとともに、大王墓（天皇陵）のみに採用されている八角墳であることや埋葬施設が特異な構造であることから、『日本書紀』天智天皇六年条に記されている齊明天皇と間人皇女が合葬された小市岡上陵の可能性が高いとされています。さらに越塚御門古墳についても埋葬施設の構造や牽牛子塚古墳との関連性から、小市岡上陵の前にある大田皇女の墓の蓋然性が高いとされています。



発掘調査で明らかとなった越塚御門古墳の全景

牽牛子塚古墳・越塚御門

【3. 整備の概要】

発掘調査の結果、墳丘の弱体化が認められ、恒久的な保護を行う必要性が高まりました。明日香村では、その成果を踏まえ、本質的な価値の担保を図りながら牽牛子塚古墳の墳丘を後世に伝えるべく、劣化した墳丘や石槨を補強盛土で覆い、外観を発掘調査の成果に基づき、築造当時の姿に復元しました。復元した外観は墳丘を保護するためのシェルターの役割を果たしています。さらに古墳周辺の地形は築造当時の地形になるよう修景を行い、飛鳥時代の空間を創出しています。

【4. 公開】

3月6日（日）から一般公開を開始しました。牽牛子塚古墳では柵越しに石槨内部をご覧いただくことができます。越塚御門古墳では扉越しに石槨をご覧いただくことができ、石槨の覆屋^{おおいや}の壁面では映像を観ることもできます。

また、古墳の名前の由来となったアサガオを用いたアサガオプロジェクトも実施しています。詳細は今後、村ホームページ等で公開する予定です。こちらもご注目ください。



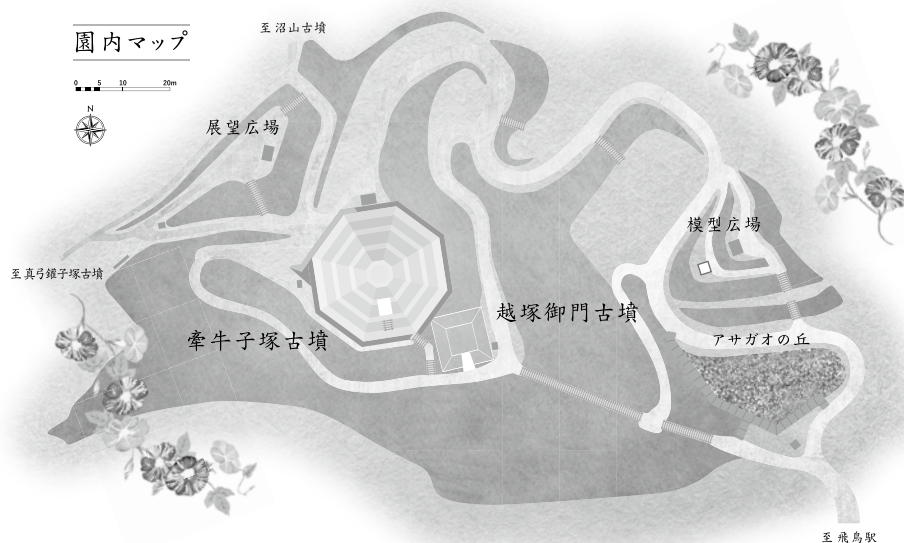
整備後の牽牛子塚古墳・越塚御門古墳全景



完成記念式典の様子



アサガオの丘からみた牽牛子塚古墳



みなさまへお願い

■駐車場

駐車場はありません。お車でお越しの場合は、道の駅「飛鳥」駐車場またはアグリステーション飛鳥駐車場をご利用ください。

■トイレ

仮設トイレを設置していますが、可能な限り道の駅「飛鳥」及びアグリステーション飛鳥のトイレをご利用ください。

令和4年 総代会役員が決まりました

明日香村の発展・自治振興にご尽力いただきます。(敬称略)

会 長	石井 宏俊	(橘)	会 計	玉井 忠	(岡)
副会長	米川 由廣	(下平田)	会計監査	前田 忠信	(上平田)
//	山口 文男	(東山)	//	吉川 公二	(八釣)

令和4年 総代一覧

大 字	氏 名	大 字	氏 名
御 園	森本 敏博	尾 曾	中井 久一
檜 前	森本 喜次	冬 野	石田 順治
檜前緑ヶ丘	上田 勝啓	畑	山尾 佳輝
檜前緑台	山口 宗宏	入 谷	水本 勇一
檜前いおり野	岡本 憲佳	栢 森	古川 雅章
阿部山	山本 隆文	稲 渕	小倉 基次
大根田	藤田 尚	阪 田	西 基之
栗 原	中井 章	祝 戸	田中 秀夫
上平田	前田 忠信	橘	石井 宏俊
中平田	田中 保夫	立 部	山本 宗嘉
下平田	米川 由廣	野 口	田中 修司
南平田	渡部 俊三	川 原	西川 亨
越	阪本 繁	飛 鳥	島田 隆昌
真 弓	川本 恵一	豊 浦	吉田 定康
地ノ窪	西窪 義明	雷	小山 登
岡	玉井 忠	小 山	前田 憲一
島 庄	下出 勝教	奥 山	脇田 泰久
上 居	内田 善八	八 釣	吉川 公二
細 川	西本 彰夫	東 山	山口 文男
上	福田 雅治	小 原	上田 善文

第8回「明日香の匠」展が開催されました

2月5日(土)から2月13日(日)までの期間、奈良県立万葉文化館企画展示室におきまして、「明日香の匠」展が開催されました。

「明日香の匠」展は、村を拠点に活動する作家と村にゆかりのある作家に焦点をあて、作品展示と交流を通して村民をはじめ多くの方々に芸術文化への関心と造詣を深めていただくことを目的に毎年開催しています。

第8回目となる今回は、38人の作家による絵画・工芸・写真・書芸など様々なジャンルの作品58点が出展されました。

会期中は子どもから大人まで、2,000人以上の方々にご来場いただきました。ありがとうございました。

